



あきさめぜんせん おし 秋雨前線について教えて

がつ なか ながあめ 9月の中ごろからの長雨

日本のように四方を海に囲まれている所では、海の気象の影響を受けて、1年を通して、雨がよく降ります。

暑い夏が終わり、9月の中ごろになると、くもりや雨の多い天気になることが、多くなります。これは、秋雨前線によるものです。

前線とは、暖かい空気と、冷たい空気がふれあうときの境目が、地面とふれあう所をいいます。

秋雨前線は、冷たくて大きな移動性高気圧が、北日本をおおい、北の気圧が高く、南の気圧が低い、気圧配置になったときにできます。

移動性高気圧と、弱くなった夏の太平洋高気圧との間にできた前線が、秋雨前線です。

秋雨前線は、「つゆ」のときの梅雨前線と似ていて、雨が長い間降り続くことがあります。数日間で降り終わることもあります。また、台風の時期と重なることが多く、大雨を降らせることがあります。

はる ながあめ 春にも長雨がある

春の天気は、おだやかな日ばかりではありません。春の天気は変わりやすく、晴れの日やくもりの日、雨の日がくり返されることが多くなります。

3月から4月にかけて、冷たい雨が降り続くことがあります。これは、春の長雨で、ちょうど、菜の花が咲くころなので、「なたねつゆ」ともよんでいます。

11月にも何日か雨の続くときがあり、「さざんかつゆ」とよばれています。日本では季節の変わり目には、雨の降りやすい時期があります。（監修・村山 貢司）

